

S&P グローバル・カーボン・エフィシエント指数シリーズに関する相談の結果について

ニューヨーク、2018年12月07日：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス（以下、「S&P DJI」という）は、S&P グローバル・カーボン・エフィシエント指数シリーズの変更可能性に関して投資コミュニティの関係者と相談を行いました。この指数シリーズには以下の指数が含まれます：

S&P グローバル・カーボン・エフィシエント指数シリーズ	
S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシエント指数	S&P グローバル 1200 カーボン・エフィシエント指数
S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシエント指数（除く日本）	S&P 500 カーボン・エフィシエント指数
S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数	S&P 400 カーボン・エフィシエント指数
S&P 先進国大中型株カーボン・エフィシエント指数	S&P 600 カーボン・エフィシエント指数
S&P 新興国大中型株カーボン・エフィシエント指数	S&P 欧州 350 カーボン・エフィシエント指数
S&P 欧州大中型株カーボン・エフィシエント指数	S&P 中国 A 株カーボン・エフィシエント指数
S&P 北米大中型株カーボン・エフィシエント指数	S&P 南アフリカ国内カーボン・エフィシエント（DSW）指数
S&P アジア太平洋大中型株カーボン・エフィシエント指数	S&P 南アフリカ国内カーボン・エフィシエント上限付け（DSW）指数

指数の複製可能性を高める一方で、不必要な売買を減らすため、S&P DJI は、指数構成銘柄のうちの2社が株式合併した場合の取り扱いを以下のように見直すことにします。

メソドロジー		
変更内容	変更前	変更後
構成銘柄間の株式合併の取扱について	存続会社の追加修正係数（AWF）を調整し、指数用株式数を一定に保ちます。消滅会社のウェイトは指数全体に配分されます。	同じ指数内の2社が合併した場合、合併後の新会社のウェイトは合併前の2社のウェイトを合計したものとなります。

2018年10月23日に実施された相談に載ったように、S&P DJI は、相談の結果が出るまで、一時的に上記の変更後の取扱で、S&P グローバル・カーボン・エフィシエント指数シリーズを維持していました。S&P DJI は今後引き続いて、変更後の取扱を用いてS&P グローバル・カーボン・エフィシエント指数シリーズを維持します。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスに関する詳しい情報については、www.spdji.com をご覧ください。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスについて

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数ベースのコンセプトやデータ、リサーチを提供する世界最大のグローバル・リソース企業であり、**S&P 500®**及び**ダウ・ジョーンズ工業株平均®**といった金融市場の代表的指標を算出しています。当社の指数に基づく金融商品に投資される資産額は、世界の指数プロバイダーの中で最大規模となっています。チャールズ・ダウが**1884年**初めて指数を発明して以降、**S&P DJI**は、幅広い資産クラスにわたって指数を革新し、開発しており、投資家が市場の測定及び取引方法を定義するのに役立っています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、**S&P グローバル (NYSE: SPGI)**のグループ会社であり、個人や企業、政府が確信を持って意思決定を行う上で不可欠な情報を提供しています。詳しい情報については、www.spdji.comをご覧ください。

詳しい情報について：

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス
index_services@spglobal.com